

地 球 に や さ し い



特許第 2728846 号
「流動化処理工法」

建設発生土(砂質土・粘性土・泥土・泥水)を
リサイクルする流動化処理土

エコソイル
ECOSOIL



販売元
株式会社エコテクノス

流動化処理土

エコソイル

ECOSOIL

**自然環境保全と工事のコストダウンに貢献する
流動化処理土「エコソイル」。**

Q：エコソイルとは？

A：建設発生土を流動化処理土製造装置(固定式又は移動式)で均一・高品質に処理した流動化埋戻し材です。

環境保全に優れ、作業効率の高い流動化処理土として、いろいろな工事箇所でも利用可能です。

- 締固め作業を必要としないため、作業コストダウンに優れています。
- 流動性があるので、狭い空間にも容易に充填ができます。
- 低い強度で固化できるので、再掘削が可能な任意の強度が得られます。
- 侵食が起こりにくいので、地盤の空洞化防止に効果があります。
- 高い粘着力を保持(硬化後)するので液状化を防げます。



固定式プラント



エコソイルはこんな所で、お役に立ちます。



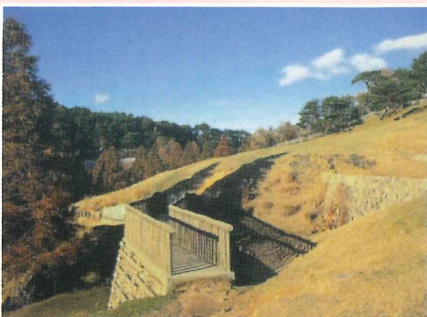
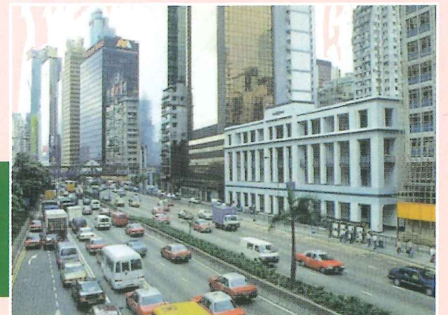
建設過程で生じた建築基礎や共同構、地下鉄等の地中構造物築造後の埋戻し及び地山との間の狭い空間の充填。

地盤沈下等による構造物の床下面。



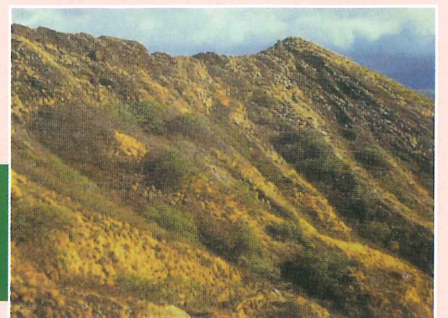
擁壁、橋台、カルバート等の構造物の裏込め。

路面陥没の原因となる、道路舗装下に生じた空洞の充填。



転圧作業の困難な盛土工。

廃杭等の複雑な形状の空洞の埋め戻し、充填。



エコソイルの製造プラントは固定式と移動式

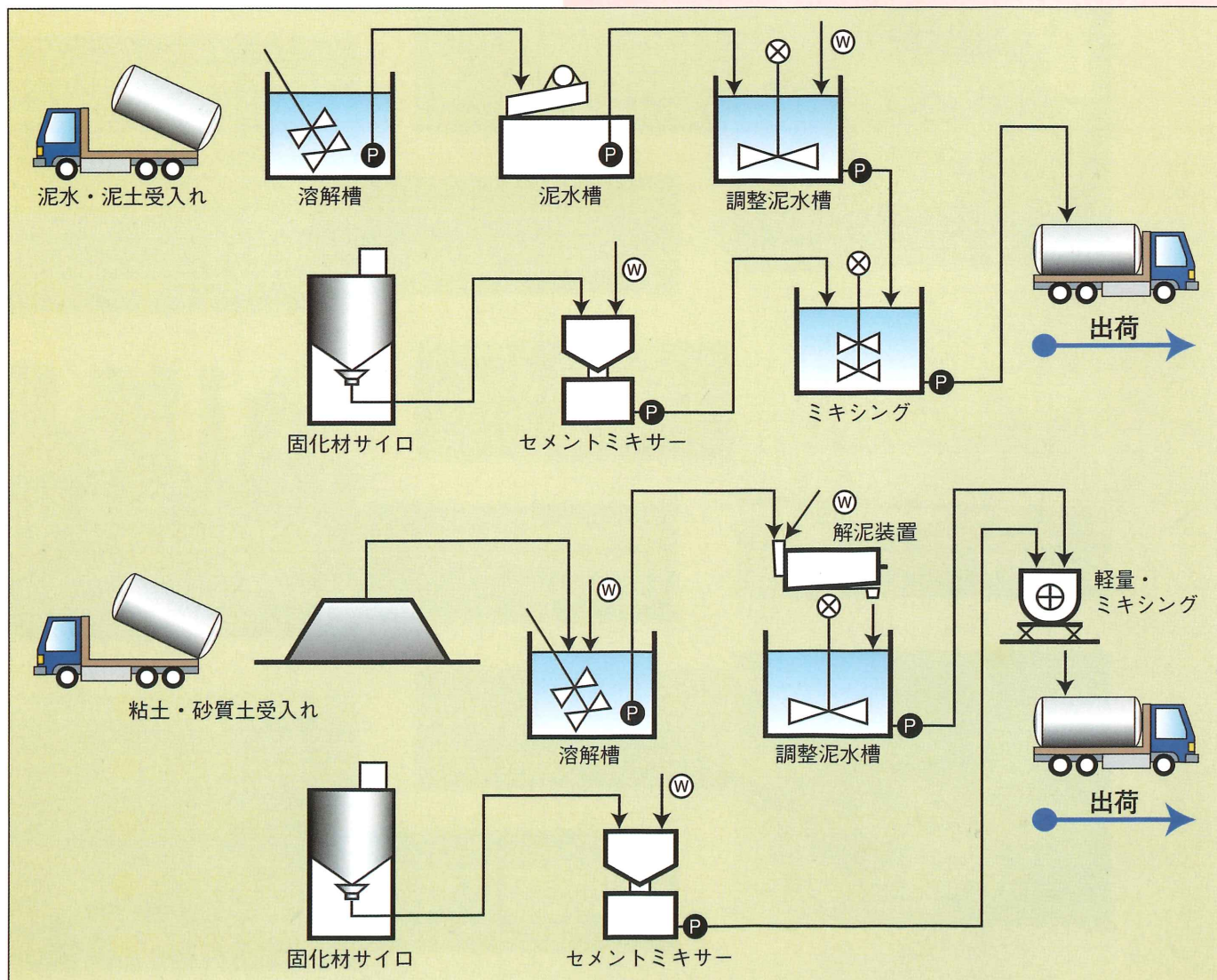
「エコソイル」 固定式プラント



＜市川高谷プラント＞
製造能力100m³/H（バッチ混練）

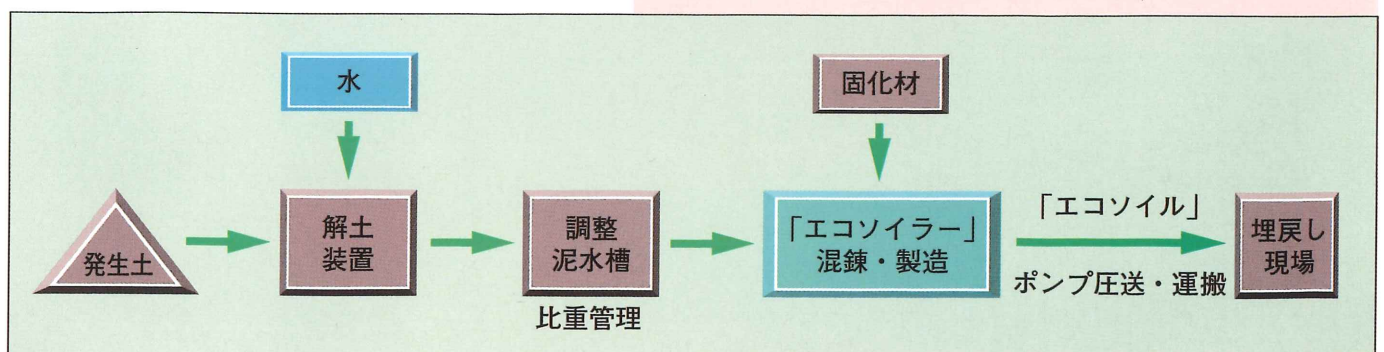
市川高谷プラントで1日当たり約500m³のエコソイル供給が可能です。

◀プラント全景



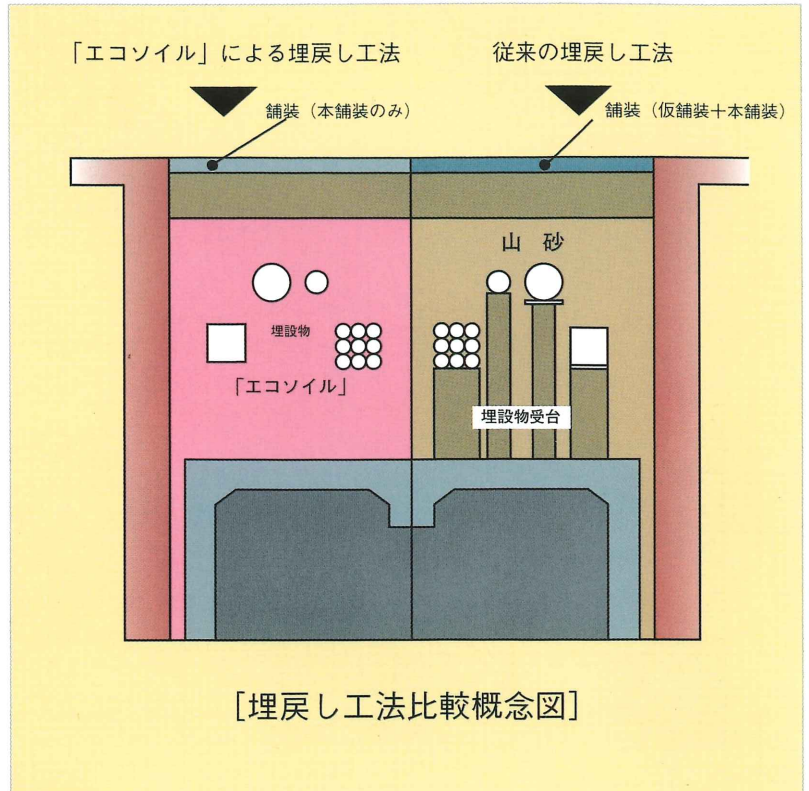
「エコソイル」 移動式プラント

＜現場設置型＞



性状 [特長]

エコソイルの特長としては、締固めを必要としないこと、流動性があるため狭い空間にも容易に充填できること、低強度で固化できるため配合を調整することにより再掘削が可能な任意の強度が得られることなどを挙げることができます。さらに、従来から埋戻しに多く用いられている山砂などに比べて表流水、浸透水による侵食が起こりにくく、侵食による地盤の空洞化防止にも効果があると考えられます。また硬化後は高い粘着力をもつので、砂地盤のような液状化の危険がありません。



「エコソイル」による埋戻し工法は、従来の埋戻し工法と比較して…

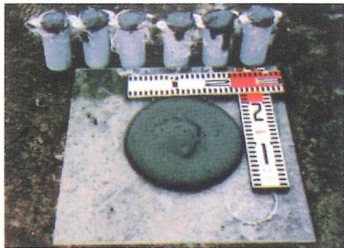
1. 埋戻し不良による路面陥没のおそれがない。
2. 埋設物復旧用受け台が不用になる。
3. 仮舗装による自然転圧の期間が不用になり
仮舗装期間の維持管理がなくなる。
4. 地震時に液状化のおそれがない。

など、多くの利点があります。

「エコソイル」は、泥水比重および固化材の量を計量管理して製造しますので、強度、流動性とも目的に対応する高品質の均一な性状の埋め戻し材としてご利用いただけます。



←一軸圧縮強度試験



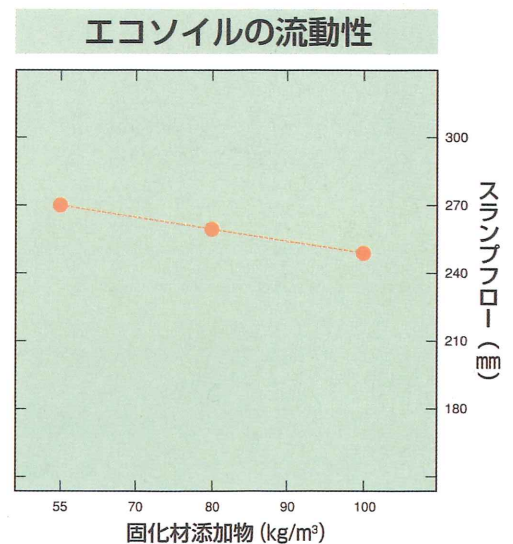
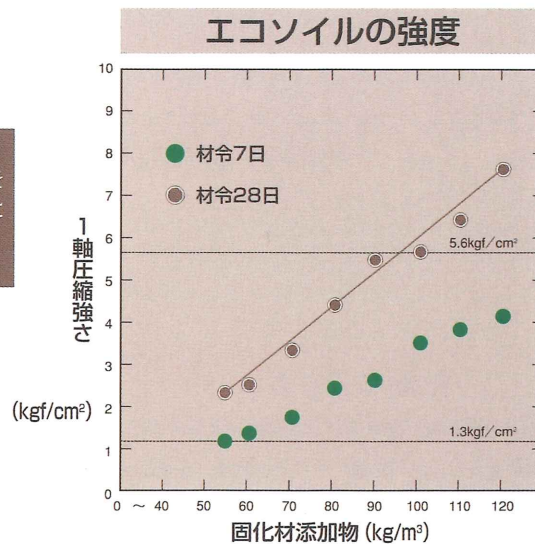
フロー試験▶

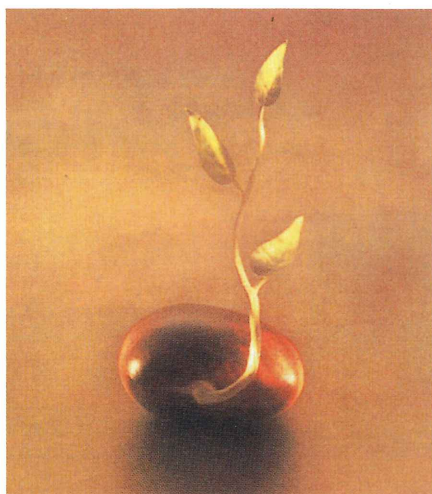
[品質管理値]
(東京都道路管理者)

- 一軸圧縮強度■
13N/cm² (1.3kgf/cm²) ~ 55N/cm² (5.6kgf/cm²)
(土の一軸圧縮試験方法：JISAI216-1993)
- フロー値■
180mm ~ 300mm
(モルタル及びエアミルクの試験方法Ⅱシリンダー法：KODAN305-1985)
- ブリージング率■
1%未満
(プレバクトコンクリートの注入モルタルのブリージング率及び膨張率試験方法：土木学会)
- 比重■
1.5t/m³以上
(ただし埋設管の埋戻しにあっては、1.35t/m³以上)

エコソイルの強度と流動性

エコソイルは固化材等の添加量を調整することにより適切な強度と流動性を得ることができます。





取扱い上の注意

エコソイルには、セメントあるいはセメント系固化剤が混入されており、目、鼻、皮膚に対し刺激性があり、目の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を引き起こす可能性があります。目、皮膚等への接触を避ける為、適切な保護具（ゴム手袋、ゴム長靴、保護メガネ、皮膚に付着しない服装）を着用して下さい。取扱い後は、顔、手、口等を水洗いして下さい。



株式会社エコテクノス

【事務所】〒272-0013 千葉県市川市高谷1964番地
TEL. 047-327-9188 FAX. 047-327-0735

○市川高谷プラント：再資源開発株式会社